

令和5年12月22日

二宮町教育委員会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

1 開会時間 9時 30分

2 閉会時間 11時 42分

3 教育長名 森 英夫

4 署名委員 古正 栄司

5 教育長及び委員

出欠席	職名	氏名
○	教育長	森 英夫
○	教育委員 教育長職務代理者	岡野 敏彦
○	教育委員	藤原 直彦
○	教育委員	杉本 かおり
○	教育委員	古正 栄司

6 出席者氏名

教育部長	椎野 文彦
教育総務課長	田嶋 卓司
教育指導担当課長	倉重 成歩
生涯学習課長	山下 昌志
教育総務課長代理	高谷 松慶
教育総務課指導班長	安藤 通晃
教育総務課教育総務班長	高橋 梓
教育総務課教育総務班主査	添田 理代

7 傍聴者 1名

8 調製者 教育総務課教育総務班主査 添田 理代

1 開会宣言

(教育長) 令和5年度12月定例教育委員会議を開催します。

2 署名委員の氏名

古正委員を指名する。

3 教育長事務報告

(教育長) 教育長事務報告を資料に基づいて行う。

(教育部長) 12月政策会議結果報告を資料に基づいて行う。

(各課長・指導主事) 各課の事務報告・事業予定・研修内容について資料に基づいて説明する。

- (岡野委員) 小小連携プロジェクトの説明では、『日常的』という言葉が使われていました。今は、分離型としてそれぞれの学校の場所は分かれているため、お互いの学校の訪問、ステンドグラスなどの作品掲示などピンポイントでの活動になっています。将来の施設一体型小中一貫教育に繋げるために、日常的に互いの活動を捉えることはできると思っています。山西小の児童が一色小に行き、一色小が迎えるというのは、受け入れ側の学校の高学年は自分たちがリードしていくという意識を持っていたと思いますので、上級生としての意識が醸成されていくと良いと思いました。
- (指導班長) 小学校の同学年でのオンライン交流は、朝の会や給食の時間などに行われています。対面での交流をより充実するためには、オンライン等で繋がりを持ち続けていくことが大事なことだと考えています。現在は、施設が離れているために対面交流を頻繁に行うことが難しい中、1回1回の交流を充実させるため、各学校が工夫しています。
- (教育長) 一色小学校では縦割りでの活動が根付いています。校舎内でのクラス配置も1年と6年、2年と5年が隣り合って配置され、上級生が下級生を見ることが日常的に行われています。このような一色小学校の特色が、にのみや学園全体に広がっていければ良いと思っています。

4 付議事項

(1) 議案第18号 令和6年度小・中学校使用学校教育法附則第9条による教科用図書採択の一部変更について

(教育指導担当課長) 令和6年度小・中学校使用学校教育法附則第9条による教科用図書採択の一部変更について資料に基づいて説明

(教育長) 委員に議案第18号について諮る。

委員全員賛成により、議案第18号は承認される。

5 報告・協議事項

(1) 二宮町教育委員会点検及び評価報告書の中間評価について

(教育総務課長、教育総務班長、教育指導担当課長、生涯学習課長) 二宮町教育委員会点検及び評価報告書の中間評価について資料に基づいて説明。

- (岡野委員) 教員の時間外について、今年度は半年経過していますが、集計等は出ていないのでしょうか。例年通りなのでしょうか。働き方改革などの対策が推進してきている中で、その効果が発揮しているのかどうか分かれれば良いという部分があります。
- (教育総務班長) 毎月の集計はしています。業務内容で月によって差がありますが、激減はしていません。1学期は多い傾向があり、2学期以降は45時間以内の学校が増えてきます。1月の教育委員会議で、12月までの平均値などを提示します。
- (岡野委員) 基本方向性1-②、3-①の指標『地域の大人から授業や放課後などに勉強やスポーツを教えてもらっている児童生徒』は、学力・学習状況調査の設問から削除されたため数値が入っていませんが、コミュニティ・スクールの指標として、大事な指標だと感じています。削除されたとしても、何かしらの形で見続ける方が良いと思います。
- (藤原委員) 同感です。他の指標にするのか、放課後子ども教室に参加している子どもの人数、サポートしてくれる大人の人数でも構わないと思います。
基本方向性『3-① 生涯学習の振興』では、指標『地域の大人から授業や放課後などに勉強やスポーツを教えてもらっている児童生徒』がなくなると、コミュニティ・スクールを知ってもらい、町民大学を実施したら、それが生涯学習の振興というのは、中々無理があると思います。『1-② 将来に向けた特色ある学校づくりの推進』も同じで、これが無くなったら、指標が一つになってしまいます。
- (教育総務課長) 次回の教育委員会議のときに反映するので、気になった点はメールでお願いします。
- (藤原委員) 先日、PISAの結果をいただき、こんなに日本が良くなったのかと驚きました。学力・学習状況調査の質問紙調査の中で、『ICT機器を週3回使用や毎日使用しているというのか』という質問内容では、どのくらい触れているのかという感じですが。PISAでは、『どこまで理解して活用できているのか』という質問です。当時は何か使っていれば良いと考えていたかもしれませんが、これからは実用的に使っているのか、KPIで設定しないのであれば施策の取り組みを書くなどの方がいいのではないかと思います。また、『学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる』が中学生になると下がっていますので、対話に関することを中学校でも

っとできるように対策を入れた方がいいのではないかと思います。

- （古正委員） 現在の英語検定奨励金の内容を教えてください。
- （教育指導担当課長） 中学生が実用英語技能検定3級以上を受検する場合、在学中2回まで補助をする制度です。私立高校を受験する際に加点されることを周知していますが、取得率は伸び悩んでいます。
- （藤原委員） 小学校低学年の不登校率が高いのが気になりましたので、対策を書けるのであれば、書いた方がいいと思いました。
- （教育長） 低年齢化は全国的な傾向で二宮町の問題だけではありません。町では、小中の流れでやっていますが、今後は幼保小中の流れも作り、幼保から小学校へ引き継ぐ体制が求められる時代になってきています。

（2）通級指導教室の新設について

- 非公開 -

（3）その他

- （岡野委員） 先日、PISAの結果を頂きました。設問がリテラシー向上からスタートしているので、高度な内容なのかと思っていましたが、実践的な内容が問われていると感じました。例えば、課題を読み解き、数学的な問題で置き換えて進む設問では、最初の読解力が問題だと感じています。設問である新聞記事に書かれていることが必ずしもそうとは限らないため、思考を回せるのかが問われている問題になっています。また、PISAの結果について、学校の先生方はどう捉えているのでしょうか。
- （指導班長） PISAの結果について、対象が高校生であることから、小中学校の先生は内容を十分把握していないと思います。
- （岡野委員） 藤原委員もおっしゃったように、ICTの利用頻度が低い、情報モラルが高い、プログラミングの興味関心は高いが、トラブルを解消できない、問題を特定することができない、など日本の特徴がよく捉えられています。技術開発をされていて感じていることが明確に出ていますので、PISAの結果を重きにさせていただきたいと思います。

（指導班長） 社会科副読本について説明。

- （古正委員） 1人1台のタブレット端末があり、デジタル化の教材をさらに活用するた

めには、家庭への持ち帰りがもっと進むと良いと思います。社会科副読本のデジタル教材を学校では見て終わってしまいますが、家族にごみに関係する仕事をしている人、農業をやっている人などがいる場合、家族が集まったり、会話が広まったりする効果もあると思います。積極的に持ち帰ってもらい、子どもたちが自分の意思で学びを深めるツールになることを期待しています。

- （教育総務課長） 教育委員会としては、学校の運用状況でできるのであれば、持ち帰りを認めています。社会科副読本のようなコンテンツが増えると、先生も家でこんなことができるだろうとなり、持ち帰りをしようとなるのかなと思っています。
- （岡野委員） タブレット端末の持ち帰りをし、子どものログを取ることで、気持ちの疲れた子やいじめなどの発掘に繋がるのではないかと思います。また、子どもがどこに多くリンクしているのか、どの写真に興味を引くのか、子どものログが取れたら、デジタルならではの学習が進むのではないかと思います。
- （指導班長） ICTを活用して、子どもの表出しづらい気持ちを把握する取り組みをしている自治体はあります。学習eポータルを導入により、ログを取れる環境は整っていますが、実際には運用していません。
- （古正委員） にのみや学園のプロジェクトで、子どもたち同士の交流の計画を立てる段階で、子どもが主体となり、自らイベント等の計画を立案し実施するようなことが今後促進されていくと良いと思います。用意されたものに子どもが乗るだけでなく、自分たちがこんなことをしたい、中学生が小学生にこんなことをしたい、など計画し実施することで、自己肯定感が高まるのではないかと思います。

－ 次回教育委員会予定 －

（教育総務班長） 次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

11時42分 閉会